



2024年10月9日

各位

会社名 北雄ラッキー株式会社
代表者名 代表取締役社長 桐生 宇優
(コード:2747、東証スタンダード・札証)
問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 高橋 徹
(TEL. 011-558-7000)

2025年2月期中間会計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年4月12日に公表いたしました2025年2月期中間会計期間業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年2月期 中間会計期間業績予想と実績値との差異 (2024年3月1日~2024年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,900	269	280	206	162.99
今回実績値 (B)	18,140	29	0	19	15.24
増減額 (B-A)	△759	△239	△279	△186	—
増減率 (%)	△4.0	△89.0	△99.9	△90.7	—
(ご参考)前中間会計期間実績 (2024年2月期中間会計期間)	18,960	287	301	197	156.02

2. 差異の理由

当中間会計期間の業績につきましては、既存店売上高は前年同期比99.1%で推移しましたが、経営資源の最適化のため前事業年度に対して2店舗を閉店した売上減少要因もあり、前中間会計期間に対して減収となりました。営業総利益はお客様の節約志向に対応するために、原材料上昇に伴う仕入れコストの上昇分をすべて価格に転嫁出来なかった影響もあり、想定を下回って推移いたしました。販売費および一般管理費につきましては、白老店の営業譲受があったことにより計画外の仲介手数料及び開店経費が発生しましたが、一方で、前事業年度から導入したセルフレジによる人件費の最適化等により経費削減を徹底した結果、販売費及び一般管理費は前年同期比98.6%となりましたが、売上高の低迷による売上総利益の減少をカバーするまでには至らず、また、財務体質の改善を目的にシンジケートローンを組成したことで計画外の手数料が発生し、これらの結果、経常利益は当初公表予想から99.9%、当期純利益は同じく90.7%下回ることとなりました。

3. 通期

通期の業績予想につきましては現在精査中であり、2024年4月12日に公表した通期業績予想を据え置きます。今後の販売動向や為替動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となる場合には速やかに開示いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上